

令和3年5月27日
岡山大学

公開セミナー「様々な家族のカタチ “2” ～LGBT と家族形成～」 をオンラインで開催

提供精子・卵子により生まれた子どもの親について裁判で争わなくても良いように、2020年12月、法的な親子関係を規定する民法の特例法が成立しました。しかし、その背景にある「提供精子・卵子による生殖医療の実態や今後の対応」については議論されておらず、提供するドナーの範囲、提供を受ける対象、子どもの出自を知る権利など、多くの課題が積み残されています。

国会議員による「LGBTには生産性がない」という雑誌への投稿記事をきっかけに、社会的な注目が集まった2018年に開催したシンポジウムでの議論に続いて、今回、公開セミナー「様々な家族のカタチ 2：LGBT と家族形成」を開催します。

2020年12月、提供精子・卵子により生まれた子どもの法的な親子関係を規定する民法の特例法が成立しました。しかし、提供するドナーの範囲、提供を受ける対象、子どもの出自を知る権利などは確定されておらず、「具体的な議論は2年間で行う」としての見切り発車となっています。

このような中、提供精子を求めるLGBT当事者の中には、行先を失い、SNS上の情報を頼りに精子提供者とコンタクトをとる例も増えています。ツイッターには「#精子提供」「#精子ドナー」などのハッシュタグ（検索ワード）が付いたアカウントが300件以上並んでおり、ここ数年で急激に増えています。医学的リスク、社会的リスクは見え隠れし、精子提供を受けたドナーの国籍や学歴が虚偽だったとして訴訟を起こした例もあり、安全・安心な体制が求められています。

「性のあり方の多様性を認める」ことは、「家族のあり方の多様性を認める」とことと密接につながっています。本シンポジウムは、さまざまな家族の形を知り、考え、議論を深めることを目的としています。

長く、日本における提供精子による人工授精（AID）を続けてこられた慶應義塾大学の産婦人科医師、子どもをもつLGBT当事者、法律の専門家などからのお話を聞くとともに、私達の実施した全国の生殖医療施設代表者への調査、及び、全国の一般市民への調査の結果から見えてくる「LGBT当事者が子どもを持つこと」への日本人の意識を報告します。

『Zoom』を利用した公開シンポジウムのため、パソコン、スマートフォン、タブレット等をお持ちでしたらどこからでもご参加いただけます。ぜひお気軽にご参加ください。

1. 名 称 公開セミナー『様々な家族のカタチ 2～LGBT と家族形成～』
2. 日 時 2021年6月19日（土曜日）13：30～16：30（オンライン開催）
3. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。（申し込み不要）
4. 申込方法 要事前申し込み。

メール（josan@cc.okayama-u.ac.jp）に、お名前、ご連絡先、ご所属を本文に明記してお送りください。締め切り：6月18日（金）15時まで 厳守



PRESS RELEASE

5. 参加費用 無料

<補足>

詳しい情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

◆研究者からのひとこと

GID（性同一性障害）学会理事長として、性同一性障害当事者の戸籍の性別変更のための特例法の改正、性同一性障害のホルモン療法の保険適用などの課題解決に向かって活動中です。その中には「LGBT 当事者の家族形成」への支援があります。

また、岡山市の「性の多様性」を認める条例づくりにも関与し、2020年からのパートナーシップ制度につながっています。

【参考】

中塚幹也：提供精子・卵子による生殖医療 親子関係を明確化する法案提出を契機に望まれる本格的な議論（Yahoo ニュース個人，2020年10月26日）。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka/20201026-00204687/>

中塚幹也：SNS上での精子取引が急増!! 第2次ブームの背景とそのリスクは？（Yahoo ニュース個人，2021年4月23日）。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka/20210423-00234090/>



岡山大学大学院保健学研究科
教授 中塚幹也

<お問い合わせ>

岡山大学大学院保健学研究科

教授 中塚幹也

（電話番号・FAX）086-235-6538

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局

（電話番号・FAX）086-235-6538

